第 2 号 (平成 3 1 年 3 月 1 1 日)

会 議 録

定 例 会

(再開)

平成31年3月井手町議会（定例会）会議録（第2号）

招集年月日

平成31年3月11日

招集の場所

井手町役場議場

開閉会日時及び宣告

開会 平成31年3月11日午前10時00分 議長 岡田久雄

閉会 平成31年3月11日午前11時44分 議長 岡田久雄

応招議員

1番	脇本	尚憲	2番	谷田	利一
3番	西島	寛道	4番	岡田	久雄
5番	古川	昭義	7番	丸山	久志
8番	中坊	陽	9番	谷田	みさお
10番	木村	武壽			

不応招議員

なし

出席議員

1番	脇本	尚憲	2番	谷田	利一
3番	西島	寛道	4番	岡田	久雄
5番	古川	昭義	7番	丸山	久志
8番	中坊	陽	9番	谷田	みさお
10番	木村	武壽			

欠席議員

なし

会議録署名議員の氏名

2番	谷田	利一	9番	谷田	みさお
----	----	----	----	----	-----

本会議に職務のため出席した者の職氏名

議会事務局長	野崎	裕美	議会書記	坂井	幸一郎
議会書記	梶田	篤志	議会書記	仁木	崇

地方自治法第121条の規定により、説明のため会議に出席した者の職氏名

町長	汐見	明男	副町長	中谷	浩三
----	----	----	-----	----	----

参 与 島田 智雄
 理事兼総務課長事務取扱 脇本 和弘
 理事兼建設課長事務取扱 西田 哲弥
 学校教育課長・
 自然休養村管理センター館長兼務 高江 裕之
 税 務 課 長 乾 浩朗
 住 民 福 祉 課 長 中坊 玲子
 高 齢 福 祉 課 長 寺井 佳孝
 産 業 環 境 課 長 菱本 嘉昭
 同和・人権政策課長 西島 豊広
 社会教育課長・
 山吹ふれあいセンター所長・図書館長兼務 平間 克則

教 育 長 松田 定
 理事兼地域創生推進室長事務取扱 眞木 伸浩
 理事兼上下水道課長事務取扱 中島 一也
 企 画 財 政 課 長 花木 秀章
 会計管理者・会計課長兼務 光田 恵理
 保 健 医 療 課 長 中谷 誠
 保健センター所長・
 地域包括支援センター所長兼務 小笠原温美
 上 下 水 道 課 参 事 森田 肇
 いづみ人権交流センター所長・
 いづみ児童館長兼務 木田 ゆかり
 学校給食センター所長 奥山 英高

議事日程

別紙のとおり

会議に付した事件

別紙のとおり

会議の経過

別紙のとおり

平成31年3月井手町議会定例会

議 事 日 程〔第2号〕

平成31年3月11日（月）午前10時開議

- 第1 会議録署名議員の指名
- 第2 議案第3号 井手町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定の件
- 第3 議案第4号 井手町災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例制定の件
- 第4 議案第5号 井手町水道事業給水条例の一部を改正する条例制定の件
- 第5 議案第11号 平成31年度井手町一般会計予算
- 第6 議案第12号 平成31年度井手町国民健康保険特別会計予算
- 第7 議案第13号 平成31年度井手町水道事業会計予算
- 第8 議案第14号 平成31年度井手町多賀地区簡易水道事業特別会計予算
- 第9 議案第15号 平成31年度井手町後期高齢者医療特別会計予算
- 第10 議案第16号 平成31年度井手町介護保険特別会計予算
- 第11 議案第17号 平成31年度井手町公共下水道事業特別会計予算
- 第12 議案第18号 平成31年度井手町多賀財産区特別会計予算

議事の経過

議長（岡田久雄） 皆さん、おはようございます。早朝よりご参集、ご苦労
さんでございます。

日程に入るに先立ち、申し上げます。

平成23年3月11日午後2時46分、東日本大震災が発生しました。幾
多のとうとい生命が失われた災害から、本日で8年を迎えます。ここで、亡
くなられた方々の御霊に対して黙禱をささげたいと思います。

皆様、ご起立をお願いいたします。

東日本大震災で亡くなられた方々へのご冥福をお祈りするため、黙禱を行
います。

黙禱。

（黙禱）

議長（岡田久雄） 黙禱を終わります。ご着席ください。

ただいまから平成31年3月井手町議会定例会を再開し、直ちに本日の会
議を開きます。

日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第127条の規定によって、2番、谷田利一
議員、9番、谷田みさお議員を指名します。

以上の両議員に差し支えのある場合には、次の順序の議席の方をお願いい
たします。

次に、日程第2、議案第3号、井手町放課後児童健全育成事業の設備及び
運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定の件を議題としま
す。

提出者から提案理由の説明を求めます。

（挙手する者あり）

議長（岡田久雄） 平間社会教育課長。

社会教育課長（平間克則） それでは、議案第3号、井手町放課後児童健全
育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制
定の件につきましてご説明申し上げます。

井手町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例
の一部を改正する条例を別紙のように定める。

なお、今回の改正につきましては、学校教育法の一部を改正する法律の施行に伴う厚生労働省関係省令の整理等に関する省令及び放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準の一部を改正する省令により、本町の放課後児童健全育成事業に係る職員の規定について整備するものであります。

それでは、2ページをごらんください。井手町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例新旧対照表であります。

例規ページ数2743の2、第10条、職員の規定であります。第10条第3項第4号、「学校教育法の規定により、幼稚園、小学校、中学校、高等学校又は中等教育学校の教諭となる資格を有する者」を、「教育職員免許法（昭和24年法律第147号）第4条に規定する免許状を有する者」に改め、こちら、教員免許状を取得した者を対象とする規定の趣旨を明確にし、基礎資格を拡大するものであります。

次に、同項第5号中、「卒業した者」の次に、「（当該学科又は当該課程を修めて同法の規定による専門職大学の前期課程を修了した者を含む。）」を加え、放課後児童支援員の基礎資格を拡大するものであります。

第9号の次に第10号といたしまして、5年以上放課後児童健全育成事業に従事した者であって、町長が適当と認めたものを追加し、こちらにつきましても、放課後児童支援員の基礎資格を拡大するものでございます。

それでは、1ページにお戻りください。

附則であります。この条例は、平成31年4月1日から施行する。

以上、簡単であります。説明にかえさせていただきます。

議長（岡田久雄）　これで提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

（挙手する者あり）

議長（岡田久雄）　谷田みさお議員。

9番（谷田みさお）　まず、放課後児童健全育成事業、いわゆる学童保育ですけれども、その利用状況、ここ数年、5年間ぐらいの推移がわかれば教えていただきたい。

それと、その利用者人数で支援員の体制がどのようにとられているのか。常時2名以上いなければいけないというのが国の今までの省令による基準だ

ったわけですがけれども、それが保たれているのかどうか。

それと、今回、学校教育法の改正による部分は学校の名前、専門職大学というものが入ったということで了解するわけですが、3条の10号、5年以上放課後児童健全育成事業に従事した者であって、町長が適当と認めたものという方も児童支援員となる資格を得るというふうに変わるわけですね。これについて、これまでそういう立場の方がいるのか。資格がなくてもいいというわけですね、これであれば。そういう方もこれまで支援員として採用してきた実績があるのかどうかお尋ねします。

(挙手する者あり)

議長(岡田久雄) 平間社会教育課長。

社会教育課長(平間克則) それでは、ただいまのご質問にお答えさせていただきます。

まず、放課後児童クラブの利用状況についてですが、平成31年2月末現在での利用状況についてお伝えさせていただきます。まず、1日平均、井手小クラブでは32人、平日で言いますと38人、土曜日3人、長期休業日34人でございます。多賀小クラブにつきましては14人、平日で言いますと15人、土曜日2人、長期休業日14人ということでございます。

次に、支援員の体制でございますけれども、井手小クラブ、多賀小クラブ、いずれにつきましても、本町につきましては3名体制で運営をしております。また、今回新たに10号、5年以上ということでございますけれども、これまでそういう立場の方というのはもちろんございませぬし、対象となる方もおられませんでした。

以上でございます。

議長(岡田久雄) ほかに質疑ありませんか。

(挙手する者あり)

議長(岡田久雄) 谷田みさお議員。

9番(谷田みさお) 学童保育については、学校の子どもたちの指導でも皆さん、教員の資格を持ってやっておられる方でも困難がある中で、学童保育は年齢の違う集団であることと、それと、教育だけじゃなくて生活の場として今保障するということになっていきますから、教師として教育の面で指導するということがじゃなくて、家庭的な指導も兼ね備えてやらなければならないということで、非常に難しいお仕事をさせていただいてると思うんです。そう

いう方に、やっぱり資格をきちんとある方にやっていただくということが当然のことやと思うんです。しかも、今お聞きしますと、井手小は38人ぐらい平日おられるという、満杯状態ですよ。非常に大変なお仕事だなと。

ところが、午後からの勤務というようなことで処遇が全国的にも低く抑えられているので、十分有資格者の方を集めることができないということで、国の方が地方から、そういう有資格者の人を多数集められない、また、子どもの少ないときにどうしても2名おらなあかんのかというようなことで、地方の小さいクラブから基準の緩和を求められてるというようなことで今回、国が基準を緩和するということになったために、その10号が入ってきたと思うんです。

しかし、本町の場合は、そういう状況ではないと思うんです。前回、議会のおきにもお聞きしたことがありますけれども、嘱託職員さん、募集しても来ていただけないというお話がありましたけれども、じゃ、10号ができたから無資格の人で全部賄うことができるんだということに、これがあることによつて、今まで町はやってなかったけども、やれることになるわけです。そういうことはやはりふさわしくないと思うんです。今後どういうふう採用体制をとっていくのかということをお聞きしたい。

それと、3項にある都道府県知事が行う研修、その内容と、修了したものでないにだめだと書いてあるんだから、現在は、本町の場合は全員受けていただいているんだと思いますが、その受講状況をお尋ねします。

(挙手する者あり)

議長(岡田久雄) 平間社会教育課長。

社会教育課長(平間克則) ただいまのご質問にお答えさせていただきます。

放課後児童クラブ、今後の採用の体制ということでございますけども、今回、国の省令の改正によりまして、それに基づき改正をさせていただきます部分と、今おっしゃっていただきました嘱託職員の採用につきましても、今後、平成31年度当初予算においてでも要求はさせていただいてるところでございます。適材な人材が得られるような努力はしていきたいということで考えてございます。

それと、研修の受講状況でございますけども、平成28年度から計画的に受講に行っていたいただいております、平成28年度2名、29年度2名、平成30年度2名、また平成31年度につきましても、引き続き2名の方を研

修に行っていただくということで予定してございます。

以上でございます。

議長（岡田久雄） ほかに質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

議長（岡田久雄） これで質疑を終わります。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

（挙手する者あり）

議長（岡田久雄） 谷田みさお議員。

9番（谷田みさお） 反対の立場で討論します。

ただいま議題になってます議案第3号、井手町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の改正の件であります。これは、国の方でこれまでの基準を、省令基準として従うべき基準であったものを参酌すべき基準というふうに緩和されたことによって、無資格の支援員を採用するということが可能になるということを含んでおります。放課後児童クラブにつきましては、非常に長時間にわたって子どもの支援を行う、しかも、生活の場としての保障を行っていくということで、町内でも非常に広く利用がされている事業でございます。その中で、職員さんの採用もなかなか難しいというのは、処遇が悪いということもあると思いますので、それをさらに、そういう内容だから規制を緩和して、どんな方であっても採用できるというようなことになっていくのは非常に困った問題だと思っております。

本町ではできる限りの努力をして嘱託職員さんを採用するような努力をしていただいている、しかも、2名という基準ではなく3名体制で行っているということも大変ありがたいことだと理解はしておりますが、しかし、国の規制緩和によってどんどんと基準が引き下げられていくということについては大変危惧をいたしておりますので、反対をいたします。

議長（岡田久雄） ほかに討論ありませんか。

（「なし」の声あり）

議長（岡田久雄） これで討論を終わります。

これから、議案第3号、井手町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定の件を採決します。

議案第3号は原案のとおり決定することに賛成の議員は挙手願います。

(賛成者挙手)

議長(岡田久雄) 挙手多数です。したがって、議案第3号は原案のとおり可決されました。

次に、日程第3、議案第4号、井手町災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例制定の件を議題とします。

提出者から提案理由の説明を求めます。

(挙手する者あり)

議長(岡田久雄) 中坊住民福祉課長。

住民福祉課長(中坊玲子) それでは、議案第4号、井手町災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例制定の件についてご説明申し上げます。

井手町災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例を別紙のように定める。

なお、今回の改正につきましては、災害弔慰金の支給等に関する法例の一部が改正されたことに伴い、災害援護資金を低い金利で貸し付けすることを可能とし、被災者ニーズに応じた貸し付けを実施できるよう所要の改正をするものであります。

それでは、2ページの新旧対照表をご参照ください。井手町災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例新旧対照表にてご説明申し上げます。

例規ページ数2967の3ページ、第14条、利率の規定を、今回、保証人及び利率の規定に改めるものでありまして、第1項として、災害援護資金の貸し付けを受けようとする者は、保証人を立てることができる規定に改め、今回新たに第2項として、災害援護資金は、保証人を立てる場合は無利子、保証人を立てない場合は年1.5%の利率とする規定を、第3項として、保証人の連帯債務に関する規定を追加するものであります。

次に、第15条、償還等の規定であります。第3項中「、保証人」を削り、「第12条」を「第11条」に改めるものであります。

次に、1ページに戻っていただきまして、附則であります。第1項、施行期日の規定であります。この条例は、平成31年4月1日から施行する。

第2項、経過措置の規定であります。

以上、簡単ではございますが、説明にかえさせていただきます。

議長（岡田久雄）　　これで提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

（挙手する者あり）

議長（岡田久雄）　　谷田みさお議員。

9番（谷田みさお）　　2ページの14条の保証人ですけれども、これまで、じゃ、保証人というのは立てないというか、なくても、援護資金の貸し付けの場合、保証人がなくても貸し付けを受けられたということでしょうか。そうしますと、第15条のところに保証人という字句があるんですけれども、これは、保証人の制度はないのにこの文言があったということなのかどうか。

災害援護資金というのは最大幾らぐらい、どういう条件で借りられるものなのかお尋ねします。

（挙手する者あり）

議長（岡田久雄）　　中坊住民福祉課長。

住民福祉課長（中坊玲子）　　ただいまの谷田みさお議員のご質問にお答えいたします。

今までは災害弔慰金の支給等に関する法律施行令に、災害援護資金の貸し付けを受けようとする者は保証人を立てなければならないというふうに規定されておりまして、今までは保証人を立てないと資金を借りることができないというふうな規定でありました。今回そちらを、災害があった場合、保証人を立てることができるというふうに条例の方で定めさせていただきまして、利率を保証人があるなしで無利子もしくは年1.5%というふうに改正させていただくものであります。

次のご質問であります、借りられる条件、あと限度額等でございますが、世帯主の負傷や家財、住居の被害に応じて150万円から350万円の貸し付けを受けられるものでありまして、こちらの対象になるのは、都道府県内で災害救助法が適用された市町村が1ある場合で、世帯主の方が負傷された場合とか家財等に被害があった場合ということになります。

以上です。

議長（岡田久雄）　　ほかに質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

議長（岡田久雄）　　これで質疑を終わります。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

（「なし」の声あり）

議長（岡田久雄）　　討論なしと認めます。したがって、討論を終わります。

これから、議案第４号、井手町災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例制定の件を採決します。

議案第４号は原案のとおり決定することに賛成の議員は挙手願います。

（賛成者挙手）

議長（岡田久雄）　　挙手全員です。したがって、議案第４号は原案のとおり可決されました。

次に、日程第４、議案第５号、井手町水道事業給水条例の一部を改正する条例制定の件を議題とします。

提出者から提案理由の説明を求めます。

（挙手する者あり）

議長（岡田久雄）　　中島上下水道課長。

理事（中島一也）　　それでは、議案第５号、井手町水道事業給水条例の一部を改正する条例制定の件についてご説明申し上げます。

井手町水道事業給水条例の一部を改正する条例を別紙のように定める。

なお、今回の改正につきましては、学校教育法等の一部を改正する法律並びに関係省令が平成３１年４月１日に施行されることに伴いまして、井手町水道事業給水条例で定める水道の布設工事監督者及び水道技術管理者の資格基準について所要の改正を行うものでございます。

それでは、２ページをお開き願います。井手町水道事業給水条例の一部を改正する条例新旧対照表であります。

例規ページ数３６６７の８、第４５条、布設工事監督者の資格の規定であります。

続いて、例規ページ数３６６７の９、第４６条、水道技術管理者の資格の規定であります。

これらともに改正であります。先ほど申し上げました学校教育法の改正に伴いまして、本年４月１日から専門職大学が創設され、前期課程と後期課程に区分することができまして、前期課程の修了者は短期大学の卒業者と同

等の教育水準を達成することとされております。これによりまして、第45条と第46条において、布設工事監督者と水道技術管理者の資格要件といたしまして、短期大学の卒業者が規定されております。この部分について、専門職大学の前期課程修了者も同様に資格要件を満たすこととなるよう文言の追加を行うものであります。また、第45条第8号は、関係省令の改正によりまして、技術士試験の選択科目が見直されることに伴います文言の削除でございます。

それでは、1ページをお開きいただきまして、附則であります。1項、施行期日、この条例は、平成31年4月1日から施行する。

2項、経過措置の規定であります。

以上、簡単であります、説明にかえさせていただきます。

議長（岡田久雄）　これで提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

議長（岡田久雄）　質疑なしと認めます。したがって、質疑を終わります。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

（「なし」の声あり）

議長（岡田久雄）　討論なしと認めます。したがって、討論を終わります。

これから、議案第5号、井手町水道事業給水条例の一部を改正する条例制定の件を採決します。

議案第5号は原案のとおり決定することに賛成の議員は挙手願います。

（賛成者挙手）

議長（岡田久雄）　挙手全員です。したがって、議案第5号は原案のとおり可決されました。

次に、日程第5、議案第11号、平成31年度井手町一般会計予算から、日程第12、議案第18号、平成31年度井手町多賀財産区特別会計予算までの8件を一括議題とします。

提出者から提案理由の説明を求めます。

まず、議案第11号、平成31年度井手町一般会計予算の説明を求めます。

（挙手する者あり）

議長（岡田久雄） 花木企画財政課長。

企画財政課長（花木秀章） それでは、議案第11号、平成31年度井手町一般会計予算につきましてご説明申し上げます。

平成31年度井手町の一般会計の予算は、次に定めるところによる。

第1条、歳入歳出予算の規定でございます。歳入歳出予算の総額は歳入歳出それぞれ40億6,800万円と定める。2項、歳入歳出予算の款項の区分及び当該区分ごとの金額は、第1表歳入歳出予算による。

第2条、債務負担行為の規定でございます。地方自治法第214条の規定により、債務を負担する行為をすることができる事項、期間及び限度額は、第2表債務負担行為による。

第3条、地方債の規定でございます。地方自治法第230条第1項の規定により起こすことができる地方債の起債の目的、限度額、起債の方法、利率及び償還の方法は、第3表地方債による。

第4条、一時借入金の規定でございます。地方自治法第235条の3第2項の規定による一時借入金の借り入れの最高額は7億円と定める。

第5条、歳出予算の流用の規定でございます。地方自治法第220条第2項ただし書きの規定により、歳出予算の各項の経費の金額を流用することができる場合は、次のとおりと定める。

次のページをごらんください。

1号、各項に計上した給料、職員手当及び共済費（賃金に係る共済費を除く）に係る予算額に過不足を生じた場合における同一款内でのこれらの経費の各項の間の流用。

次に、9ページをごらんください。第2表債務負担行為であります。

第5次総合計画策定業務、期間、平成31年度から平成32年度まで、限度額500万円。

次のページをごらんください。第3表地方債であります。

起債の目的、1目土木施設整備事業債。限度額9,270万円。ただし、発行価格が額面を下回るときは、その発行価格差減額を埋めるため必要な金額をこれに加算した額。記載の方法、証書借り入れまたは証券発行。ただし、証券発行の方法による場合においては、発行価格は額面金額100円につき99円50銭以上とする。利率8%以内。ただし、利率見直し方式で借り入れられる財政融資資金及び地方公共団体金融機構資金について、利率の見直しを

行った後においては、当該見直し後の利率。償還の方法、40年以内据置期間を含む。ただし、町財政の都合により据置期間及び償還期限を短縮し、もしくは繰上償還または低利に借りかえすることができる。2目消防防災施設等整備事業債、限度額1,400万円。なお、起債の方法、利率、償還の方法につきましては同様でございます。3目臨時財政対策債、限度額9,170万円。起債の方法、利率、償還の方法につきましては同様でございます。

次のページをごらんください。歳入歳出予算事項別明細書であります。

1、総括の歳入であります。1款町税、本年度予算額8億8,073万2,000円、比較2,168万9,000円であります。

2款地方譲与税、本年度予算額2,664万8,000円、比較64万8,000円であります。

3款利子割交付金、本年度予算額100万円、比較ゼロであります。

4款配当割交付金、本年度予算額600万円、比較100万円であります。

5款株式等譲渡所得割交付金、本年度予算額500万円、比較ゼロであります。

6款地方消費税交付金、本年度予算額1億5,300万円、比較300万円の減であります。

7款自動車取得税交付金、本年度予算額500万円、比較500万円の減であります。

8款環境性能割交付金、本年度予算額200万円、比較200万円であります。

9款地方特例交付金、本年度予算額300万円、比較100万円であります。

10款地方交付税、本年度予算額14億6,000万円、比較ゼロであります。

11款交通安全対策特別交付金、本年度予算額70万円、比較ゼロであります。

12款分担金及び負担金、本年度予算額3,186万1,000円、比較58万2,000円の減であります。

13款使用料及び手数料、本年度予算額4,033万4,000円、比較112万9,000円あります。

14款国庫支出金、本年度予算額3億1,276万7,000円、比較2

億 8, 121 万 9, 000 円の減であります。

次のページをごらんください。

15 款府支出金、本年度予算額 2 億 9, 003 万 5, 000 円、比較 1 億 597 万 3, 000 円の減であります。

16 款財産収入、本年度予算額 2, 088 万 8, 000 円、比較 78 万 6, 000 円であります。

17 款寄附金、本年度予算額 1 億 9, 367 万 7, 000 円、比較 1 億 9, 367 万 1, 000 円であります。

18 款繰入金、本年度予算額 4 億 1, 205 万 9, 000 円、比較 2 億 8, 025 万 6, 000 円の減であります。

19 款繰越金、本年度予算額 500 万円、比較ゼロであります。

20 款諸収入、本年度予算額 1, 989 万 9, 000 円、比較 599 万 3, 000 円の減であります。

21 款町債、本年度予算額 1 億 9, 840 万円、比較 2 億 5, 190 万円の減であります。

以上、歳入合計、本年度予算額 40 億 6, 800 万円、比較 7 億 1, 200 万円の減であります。

次のページをごらんください。

歳出であります。1 款議会費、本年度予算額 5, 724 万 6, 000 円、比較 198 万 4, 000 円の減であります。財源内訳といたしまして、一般財源の 5, 724 万 6, 000 円であります。

2 款総務費、本年度予算額 11 億 5, 943 万 6, 000 円、比較 1, 977 万 1, 000 円あります。財源内訳といたしまして、国・府支出金の 9, 245 万円、その他の 1 億 4, 067 万 6, 000 円、一般財源の 9 億 2, 631 万円あります。

3 款民生費、本年度予算額 9 億 7, 925 万 1, 000 円、比較 3, 387 万 1, 000 円の減であります。財源内訳といたしまして、国・府支出金の 3 億 1, 843 万 6, 000 円、その他の 3, 290 万 3, 000 円、一般財源の 6 億 2, 791 万 2, 000 円あります。

4 款衛生費、本年度予算額 2 億 6, 457 万 6, 000 円、比較 2, 028 万円の減であります。財源内訳といたしまして、国・府支出金の 2, 362 万 3, 000 円、その他の 503 万 6, 000 円、一般財源の 2 億 3, 5

91万7,000円であります。

5款労働費、本年度予算額1,000円、比較ゼロであります。財源内訳といたしまして、一般財源の1,000円であります。

6款農林水産業費、本年度予算額5,695万1,000円、比較254万3,000円であります。財源内訳といたしまして、国・府支出金の1,687万6,000円、その他の196万2,000円、一般財源の3,811万3,000円あります。

7款商工費、本年度予算額6,286万円、比較839万6,000円の減であります。財源内訳といたしまして、国・府支出金の145万7,000円、その他の150万3,000円、一般財源の6,990万円あります。

8款土木費、本年度予算額6億6,579万円、比較6億6,262万円の減であります。財源内訳といたしまして、国・府支出金の1億3,636万円、地方債の9,270万円、その他の3億5,277万円、一般財源の8,396万円あります。

9款消防費、本年度予算額2億4,142万5,000円、比較1,692万5,000円の減であります。財源内訳といたしまして、地方債の1,400万円、その他の463万円、一般財源の2億2,279万5,000円あります。

10款教育費、本年度予算額3億3,352万2,000円、比較1,209万4,000円、財源内訳といたしまして、国・府支出金の1,359万8,000円、その他の1,750万1,000円、一般財源の3億242万3,000円あります。

11款災害復旧費、本年度予算額280万3,000円、比較2,000円あります。財源内訳といたしまして、一般財源の280万3,000円あります。

12款公債費、本年度予算額2億2,663万9,000円、比較233万4,000円の減であります。財源内訳といたしまして、その他の5,000万円、一般財源の1億7,663万9,000円あります。

13款予備費、本年度予算額750万円、比較ゼロであります。財源内訳といたしまして、一般財源の750万円あります。

以上、歳出合計、本年度予算額40億6,800万円、比較7億1,20

0万円の減、財源内訳といたしまして、国・府支出金の6億280万円、地方債の1億670万円、その他の6億698万1,000円、一般財源の27億5,151万9,000円であります。

以上、簡単であります。説明にかえさせていただきます。なお、給与費明細書につきましては、後ほどごらんください。

議長（岡田久雄） 引き続き、主な事業の説明を求めます。

（挙手する者あり）

議長（岡田久雄） 西田建設課長。

理事（西田哲弥） それでは、主な事業につきましてご説明申し上げます。

平成31年度予算参考諸表5ページをお開き願います。なお、末尾に工事箇所図を添付しておりますので、あわせてご参照願います。

図対象番号①、事業名、防犯カメラ整備、事業費150万円、財源内訳といたしまして、一般財源150万円、事業の概要といたしまして、2台であります。

図対象番号②、事業名、共同浴場ボイラー更新、事業費583万円、財源内訳としまして、一般財源の583万円、事業の概要といたしまして、ボイラー1基であります。

図対象番号③、町道29号線道路改良、事業費3,000万円、財源内訳といたしまして、国支出金の1,732万5,000円、地方債の1,140万円、その他の127万5,000円、事業の概要といたしまして、L=800メートル（全体計画）であります。

図対象番号④、事業名、歴史と自然が薫る道づくり事業、事業費1,000万円、財源内訳といたしまして、その他の1,000万円、事業の概要としまして、L=140メートル、A=500平米でございます。

図対象番号⑤、事業名、町道12-36号線道路改良、事業費1億8,300万円、財源内訳としまして、その他の1億8,300万円、事業の概要としまして、L=250メートルであります。

図対象番号⑥、事業名、町道3号線道路改良、事業費3,600万円、財源内訳としまして、国支出金の2,079万円、地方債の1,370万円、その他の151万円、事業の概要としまして、L=1,000メートル（全体計画）であります。

図対象番号⑦、事業名、町道41-03号線道路改良、事業費2,50

0万円、財源内訳としまして、国支出金の1,443万7,000円、地方債の950万円、その他の106万3,000円、事業の概要としまして、L=200メートルであります。

図対象番号⑧、事業名、町道12-11号線他道路舗装、事業費400万円、財源内訳としまして、その他の400万円、事業の概要としまして、L=250メートル、A=460平米であります。

図対象番号⑨、事業名、町道38-07号線他道路改良、事業費660万円、財源内訳としまして、その他の660万円、事業の概要としまして、L=100メートル、A=100平米であります。

図対象番号⑩、事業名、瀧谷川浚渫、事業費150万円、財源内訳としまして、その他の150万円、事業の概要としまして、L=220メートル、V=150立米であります。

図対象番号⑪、事業名、下排水路改修、事業費610万円、財源内訳としまして、府支出金の305万円、その他の305万円、事業の概要としまして、3カ所（判ノ地、東北ノ代、辻垣内）であります。

図対象番号⑫、事業名、合藪ポンプ場施設整備、事業費500万円、財源内訳としまして、その他の500万円、事業の概要としまして、ナンバー4ポンプ駆動装置等整備であります。

同じく図対象番号⑫、事業名、合藪ポンプ場設備改修、事業費2,100万円、財源内訳としまして、その他の2,100万円、事業の概要としまして、エンジン1基であります。

図対象番号⑬、事業名、JR玉水駅周辺整備、事業費1億2,808万5,000円、財源内訳としまして、国支出金の2,748万円、府支出金の2,666万6,000円、地方債の1,810万円、その他の5,583万9,000円、事業の概要としまして、東広場整備ほかであります。

図対象番号⑭、事業名、改良住宅等改修、事業費2,200万円、財源内訳としまして、一般財源の220万円、事業の概要といたしまして、空き家改修1戸であります。

図対象番号⑮、事業名、町営住宅環境整備、事業費9,900万円、財源内訳としまして、国支出金の495万円、一般財源の495万円、事業の概要としまして、簡二25戸であります。

図対象番号⑯、事業名、町営住宅高架水槽撤去、事業費154万円、財

源内訳としまして、一般財源の154万円、事業の概要としまして、高架水槽1基であります。

図対象番号⑰、事業名、防火水槽設置、事業費1,200万円、財源内訳としまして、地方債の1,200万円、事業の概要としまして、1カ所あります。

図対象番号⑱、事業名、炊飯ライン更新、事業費689万3,000円、財源内訳としまして、その他の689万3,000円、事業の概要としまして、炊飯ライン一式であります。

以上、簡単ではございますが、説明にかえさせていただきます。

議長（岡田久雄） 次に、議案第12号の説明を求めます。

（挙手する者あり）

議長（岡田久雄） 中谷保健医療課長。

保健医療課長（中谷 誠） それでは、議案第12号、平成31年度井手町国民健康保険特別会計予算について説明申し上げます。

平成31年度井手町の国民健康保険特別会計の予算は、次に定めるところによる。

第1条、歳入歳出予算の規定であります。歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ10億877万5,000円と定める。2項、歳入歳出予算の款項の区分及び当該区分ごとの金額は、第1表歳入歳出予算による。

第2条、一時借入金の規定であります。地方自治法第235条の3第2項の規定による一時借入金の借り入れの最高額は2億円と定める。

それでは、5ページをお開きください。歳入歳出予算事項別明細書であります。

歳入であります。1款国民健康保険税、本年度予算額1億6,170万7,000円、比較990万2,000円の減であります。

2款使用料及び手数料、本年度予算額24万円、比較ゼロであります。

3款府支出金、本年度予算額7億4,573万1,000円、比較4,451万6,000円の減であります。

4款財産収入、本年度予算額1,000円、比較ゼロであります。

5款繰入金、本年度予算額9,909万8,000円、比較665万5,000円あります。

6款繰越金、本年度予算額1,000円、比較ゼロであります。

7 款諸収入、本年度予算額 1 9 9 万 7, 0 0 0 円、比較ゼロであります。

以上、歳入合計、本年度予算額 1 0 億 8 7 7 万 5, 0 0 0 円、比較 4, 7 7 6 万 3, 0 0 0 円の減であります。

6 ページをごらんください。

歳出であります。1 款総務費、本年度予算額 7 0 1 万 4, 0 0 0 円、比較 1 7 9 万 8, 0 0 0 円、財源内訳といたしまして、一般財源の 7 0 1 万 4, 0 0 0 円であります。

2 款保険給付費、本年度予算額 7 億 3, 4 4 1 万円、比較 4, 8 1 2 万 1, 0 0 0 円の減、財源内訳といたしまして、国・府支出金の 7 億 2, 2 2 8 万 2, 0 0 0 円、一般財源の 1, 2 1 2 万 8, 0 0 0 円であります。

3 款国民健康保険事業費納付金、本年度予算額 2 億 4, 6 2 8 万 4, 0 0 0 円、比較 1 8 5 万 7, 0 0 0 円の減、財源内訳といたしまして、国・府支出金の 1, 5 4 1 万 2, 0 0 0 円、一般財源の 2 億 3, 0 8 7 万 2, 0 0 0 円であります。

4 款共同事業拠出金、本年度予算額 2, 0 0 0 円、比較ゼロ、財源内訳といたしまして、一般財源の 2, 0 0 0 円であります。

5 款保健事業費、本年度予算額 1, 7 3 3 万 2, 0 0 0 円、比較 4 1 万 7, 0 0 0 円、財源内訳といたしまして、国・府支出金の 8 0 3 万 7, 0 0 0 円、一般財源の 9 2 9 万 5, 0 0 0 円であります。

6 款公債費、本年度予算額 1 万円、比較ゼロ、財源内訳といたしまして、一般財源の 1 万円であります。

7 款諸支出金、本年度予算額 1 7 2 万 3, 0 0 0 円、比較ゼロ、財源内訳といたしまして、一般財源の 1 7 2 万 3, 0 0 0 円であります。

8 款予備費、本年度予算額 2 0 0 万円、比較ゼロ、財源内訳といたしまして、一般財源の 2 0 0 万円であります。

以上、歳出合計、本年度予算額 1 0 億 8 7 7 万 5, 0 0 0 円、比較 4, 7 7 6 万 3, 0 0 0 円の減、財源内訳といたしまして、国・府支出金の 7 億 4, 5 7 3 万 1, 0 0 0 円、一般財源の 2 億 6, 3 0 4 万 4, 0 0 0 円であります。

以上、簡単ではありますが、説明にかえさせていただきます。

議長（岡田久雄） 次に、議案第 1 3 号の説明を求めます。

（挙手する者あり）

議長（岡田久雄） 中島上下水道課長。

理事（中島一也） それでは、議案第13号、平成31年度井手町水道事業会計予算についてご説明申し上げます。

第1条、総則の規定であります。平成31年度井手町水道事業会計の予算は、次に定めるところによる。

第2条、業務の予定量の規定であります。業務の予定量は、次のとおりとする。

1号、給水個数2,100戸。2号、年間総給水量73万立法メートル。3号、1日平均給水量2,000立方メートル。4号、主要な建設改良事業、配水設備事業。

第3条、収益的収入及び支出の規定であります。収益的収入及び支出の予定額は、次のとおりと定める。

収入であります。第1款水道事業収益1億3,239万円、第1項営業収益1億753万6,000円、第2項営業外収益2,485万3,000円、第3項特別利益1,000円。

支出、第1款水道事業費用1億3,239万4,000円、第1項営業費用1億2,166万8,000円、第2項営業外費用1,022万4,000円、第3項特別損失2,000円、第4項予備費50万円。

次のページをお開き願います。

第4条、資本的収入及び支出の規定であります。資本的収入及び支出の予定額は、次のとおりと定める（資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額5,336万2,000円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額604万7,000円、過年度分損益勘定留保資金4,731万5,000円で補填するものとする）。

収入であります。第1款資本的収入5,400万3,000円、第1項企業債3,900万円、第2項分担金100万円、第3項寄附金1,000円、第4項その他資本的収入1,000円、第5項負担金1,400万1,000円。

支出であります。第1款資本的支出1億736万5,000円、第1項建設改良費8,781万4,000円、第2項企業債償還金1,955万円、第3項その他資本的支出1,000円。

第5条、企業債の規定であります。起債の目的、限度額、起債の方法、利

率及び償還の方法は、次のとおりと定める。

起債の目的、上水道事業債。限度額3,900万円。ただし、発行価格が額面を下回る時は、その発行価格差減額を埋めるために必要な金額をこれに加算した額。起債の方法、証書借り入れまたは証券発行。ただし、証券発行の方法による場合においては、発行価格は額面金額100円につき99円50銭以上とする。利率8%以内。ただし、利率見直し方式で借り入れる財政融資資金及び地方公共団体金融機構資金について、利率の見直しを行った後においては、当該見直し後の利率。償還の方法、40カ年以内据置期間を含む。ただし、企業財政の都合により据置期間及び償還期限を短縮し、もしくは繰上償還または低利に借りかえすることができる。

次のページをごらんください。

第6条、一時借入金の規定であります。一時借入金の限度額は5,000万円と定める。

第7条、予定支出の各項の経費の金額の流用の規定であります。予定支出の各項の経費の金額を流用することができる場合は、次のとおりと定める。

1号、営業費用及び営業外費用並びに特別損失に係る予算額に過不足が生じた場合におけるこれらの経費との間。2号、建設改良費及び企業債償還金並びにその他資本的支出に係る予算額に過不足が生じた場合におけるこれらの経費との間。

第8条、議会の議決を経なければ流用することのできない経費の規定であります。次に掲げる経費については、その経費の金額を、それ以外の経費の金額に流用し、またはそれ以外の経費をその経費の金額に流用する場合は、議会の議決を経なければならない。

1号、職員給与費1,165万6,000円。

第9条、棚卸資産購入限度額の規定であります。棚卸資産の購入限度額は200万円と定める。

4ページをお開き願います。

平成31年度井手町水道事業会計予算実施計画であります。

収益的収入及び支出の収入であります。1款水道事業収益、予定額1億3,239万円。1項営業費用、予定額1億753万6,000円、1目給水収益、予定額9,300万円、2目受託工事収益、予定額35万円、3目その他営業収益、予定額1,418万6,000円。2項営業外収益、予定額2,

485万3,000円、1目受取利息及び配当金、予定額2,000円、2目長期前受金戻入、予定額2,400万円。3項特別利益、予定額1,000円、1目過年度損益修正益1,000円。

次のページをごらんください。

支出であります。1款水道事業費用、予定額1億3,239万4,000円。1項営業費用、予定額1億2,166万8,000円、1目原水及び浄水費、予定額2,333万8,000円、2目配水及び給水費、予定額1,155万4,000円、3目受託工事費、予定額230万円、4目総係費、予定額2,287万4,000円、5目減価償却費、予定額6,078万円、6目資産減耗費、予定額75万円、7目その他営業費用、予定額7万2,000円。2項営業外費用、予定額1,022万4,000円、1目支払利息及び企業債取扱諸費、予定額422万3,000円、2目消費税及び地方消費税、予定額600万円。次のページをお開きいただきまして、3目雑支出、予定額1,000円。3項特別損失、予定額2,000円、1目過年度損益修正損、予定額1,000円、2目その他特別損失、予定額1,000円。4項予備費、予定額50万円、1目予備費、予定額50万円。

次のページをごらんください。

資本的収入及び支出の収入であります。1款資本的収入、予定額5,400万3,000円。1項企業債、予定額3,900万円、1目企業債、予定額3,900万円。2項分担金、予定額100万円、1目分担金、予定額100万円。3項寄附金、予定額1,000円、1目寄附金、予定額1,000円。4項その他資本的収入、予定額1,000円、1目その他資本的収入1,000円。5項負担金、予定額1,400万1,000円、1目負担金1,400万1,000円。

次のページをお開き願います。

支出であります。資本的支出、予定額1億736万5,000円。1項建設改良費、予定額8,781万4,000円、1目事務費、予定額1,553万4,000円、2目配水設備工事費、予定額4,900万円、3目施設改良事業費、予定額1,000万円、4目固定資産購入費、予定額1,328万円。2項企業債償還金、予定額1,955万円、1目企業債償還金、予定額1,955万円。3項その他資本的支出、予定額1,000円、1目その他資本的支出、予定額1,000円。

以上、簡単ではありますが、説明にかえさせていただきます。なお、次ページ以降につきましては、後ほどごらんおきます。

議長（岡田久雄）　引き続きまして、主な事業の説明を求めます。

（挙手する者あり）

議長（岡田久雄）　中島上下水道課長。

理事（中島一也）　それでは、平成31年度井手町水道事業会計予算に計上した事業の概要についてご説明申し上げます。なお、次ページに工事箇所図を添付しておりますので、あわせてご参照願います。

図対象番号①、事業名、府立特別支援学校配水管整備事業、事業費2,000万円、財源内訳といたしまして、その他の1,400万円、一般財源600万円、事業の概要といたしまして、L=400メートルであります。

図対象番号②、事業名、石綿管布設替事業、事業費1,400万円、財源内訳といたしまして、地方債1,400万円、事業の概要といたしまして、L=80メートルであります。

図対象番号③、事業名、水道施設更新事業、事業費2,000万円、財源内訳といたしまして、地方債1,000万円、一般財源1,000万円、事業の概要といたしまして、揚水場更新ほかであります。

図対象番号④、事業名、仮設配水管撤去事業、事業費1,500万円、財源内訳といたしまして、地方債の1,500万円、事業の概要といたしまして、L=64メートルであります。

以上、簡単ではありますが、説明にかえさせていただきます。

議長（岡田久雄）　この際、暫時休憩します。11時15分まで休憩します。

休憩　午前11時02分

再開　午前11時15分

議長（岡田久雄）　休憩前に引き続き、再開します。

議長（岡田久雄）　次に、議案第14号の説明を求めます。

（挙手する者あり）

議長（岡田久雄）　中島上下水道課長。

理事（中島一也）　それでは、議案第14号、平成31年度井手町多賀地区簡易水道事業特別会計予算についてご説明申し上げます。

平成31年度井手町の多賀地区簡易水道事業特別会計の予算は、次に定めるところによる。

第1条、歳入歳出予算の規定であります。歳入歳出予算の総額は歳入歳出それぞれ6,103万1,000円と定める。2項、歳入歳出予算の款項の区分及び当該区分ごとの金額は、第1表歳入歳出予算による。

第2条、地方債の規定であります。地方自治法第230条第1項の規定により起こすことができる地方債の起債の目的、限度額、起債の方法、利率及び償還の方法は、第2表地方債による。

第3条、一時借入金の規定であります。地方自治法第235条の3第2項の規定による一時借入金の借入れの最高額は2,000万円と定める。

第4条、歳出予算の流用の規定であります。地方自治法第220条第2項ただし書きの規定により、歳出予算の各項の経費の金額を流用することができる場合は、次のとおりと定める。

1号、各項に計上した給料、職員手当及び共済費（賃金に係る共済費を除く）に係る予算額に過不足を生じた場合における同一款内でのこれらの経費の各項の間の流用。

5ページをお開き願います。第2表地方債であります。

起債の目的、水道事業債。限度額1,350万円。ただし、発行価格が額面を下回るときは、その発行価格差減額を埋めるため必要な金額をこれに加算した額。記載の方法、証書借入れまたは証券発行。ただし、証券発行の方法による場合においては、発行価格は額面金額で100円につき99円50銭以上とする。利率8%以内。ただし、利率見直し方式で借入れる財政融資資金及び地方公共団体金融機構資金について、利率の見直しを行った後においては、当該見直し後の利率。償還の方法、40カ年以内据置期間を含む。ただし、町財政の都合により据置期間及び償還期限を短縮し、もしくは繰上償還または低利に借りかえすることができる。

次のページをお開きください。歳入歳出予算事項別明細書にてご説明申し上げます。

歳入であります。1款分担金及び負担金、本年度予算額92万5,000円、比較ゼロ。

2款使用料及び手数料、本年度予算額3,605万8,000円、比較250万円であります。

3款財産収入、本年度予算額6,000円、比較2万4,000円の減であります。

4 款 寄附金、本年度予算額 1, 0 0 0 円、比較ゼロであります。

5 款 繰入金、本年度予算額 1, 0 5 3 万 7, 0 0 0 円、比較 8 8 6 万 5, 0 0 0 円の減であります。

6 款 繰越金、本年度予算額 1, 0 0 0 円、比較ゼロであります。

7 款 諸収入、本年度予算額 3, 0 0 0 円、比較 1, 4 0 0 万円の減であります。

8 款 町債、本年度予算額 1, 3 5 0 万円、比較 1, 3 5 0 万円。

以上、歳入合計、本年度予算額 6, 1 0 3 万 1, 0 0 0 円、比較 6 8 8 万 9, 0 0 0 円の減であります。

次のページをごらんください。

歳出であります。1 款 業務費、本年度予算額 2, 9 2 6 万円、比較 4 6 1 万円、財源内訳といたしまして、その他の 6, 0 0 0 円、一般財源の 2, 9 2 5 万 4, 0 0 0 円であります。

2 款 事業費、本年度予算額 1, 4 3 5 万円、比較 1, 1 5 0 万円の減、財源内訳といたしまして、地方債の 1, 3 5 0 万円、一般財源の 8 5 万円であります。

3 款 公債費、本年度予算額 1, 7 0 2 万 1, 0 0 0 円、比較 1, 0 0 0 円、財源内訳といたしまして、その他の 1 5 4 万 8, 0 0 0 円、一般財源の 1, 5 4 7 万 3, 0 0 0 円であります。

4 款 予備費、本年度予算額 4 0 万円、比較ゼロ、財源内訳といたしまして、一般財源の 4 0 万円であります。

以上、歳出合計、本年度予算額 6, 1 0 3 万 1, 0 0 0 円、比較 6 8 8 万 9, 0 0 0 円の減、財源内訳といたしまして、地方債の 1, 3 5 0 万円、その他の 1 5 5 万 4, 0 0 0 円、一般財源の 4, 5 9 7 万 7, 0 0 0 円であります。

以上、簡単であります。説明にかえさせていただきます。なお、1 3 ページ以降に給与費明細書がございます。後ほどごらんおき願います。

議長（岡田久雄） 引き続き、主な事業の説明を求めます。

（挙手する者あり）

議長（岡田久雄） 中島上下水道課長。

理事（中島一也） それでは、平成 3 1 年度井手町多賀地区簡易水道事業特別会計予算に計上した事業の概要についてご説明申し上げます。なお、次ペ

ージに工事箇所図を添付しておりますので、あわせてご参照願います。

図対象番号①、事業名、配水管整備事業、事業費1,350万円、財源内訳といたしまして、地方債の1,350万円、事業の概要といたしまして、L=150メートル、詳細設計であります。

以上、簡単であります、説明にかえさせていただきます。

議長（岡田久雄） 次に、議案第15号の説明を求めます。

（挙手する者あり）

議長（岡田久雄） 中谷保健医療課長。

保健医療課長（中谷 誠） それでは、議案第15号、平成31年度井手町後期高齢者医療特別会計予算についてご説明申し上げます。

平成31年度井手町の後期高齢者医療特別会計の予算は、次に定めるところによる。

第1条、歳入歳出予算の規定であります。歳入歳出予算の総額は歳入歳出それぞれ1億1,060万2,000円と定める。2項、歳入歳出予算の款項の区分及び当該区分ごとの金額は、第1表歳入歳出予算による。

それでは、4ページをお開きください。歳入歳出予算事項別明細書であります。

歳入であります。1款保険料、本年度予算額7,941万7,000円、比較423万2,000円であります。

2款使用料及び手数料、本年度予算額2万4,000円、比較ゼロであります。

3款繰入金、本年度予算額3,093万6,000円、比較118万3,000円あります。

4款繰越金、本年度予算額1,000円、比較ゼロであります。

5款諸収入、本年度予算額22万4,000円、比較ゼロであります。

以上、歳入合計、本年度予算額1億1,060万2,000円、比較541万5,000円あります。

5ページをごらんください。

歳出であります。1款総務費、本年度予算額133万4,000円、比較1万7,000円の減、財源内訳といたしまして、その他の2万4,000円、一般財源の131万円あります。

2款後期高齢者医療広域連合納付金、本年度予算額1億895万8,000

0円、比較543万2,000円、財源内訳といたしまして、その他の7,942万8,000円、一般財源の2,953万円であります。

3款諸支出金、本年度予算額21万円、比較ゼロ、財源内訳といたしまして、その他の21万円であります。

4款予備費、本年度予算額10万円、比較ゼロ、財源内訳といたしまして、一般財源の10万円であります。

以上、歳出合計、本年度予算額1億1,060万2,000円、比較541万5,000円、財源内訳といたしまして、その他の7,966万2,000円、一般財源の3,094万円であります。

以上、簡単ではありますが、説明にかえさせていただきます。

議長（岡田久雄） 次に、議案第16号の説明を求めます。

（挙手する者あり）

議長（岡田久雄） 寺井高齢福祉課長。

高齢福祉課長（寺井佳孝） それでは、議案第16号、平成31年度井手町介護保険特別会計予算につきましてご説明申し上げます。

平成31年度井手町の介護保険特別会計の予算は、次に定めるところによる。

第1条、歳入歳出予算の規定であります。保険事業勘定の歳入歳出予算の総額は歳入歳出それぞれ8億7,473万6,000円と定める。2項、介護サービス事業勘定の歳入歳出予算の総額は歳入歳出それぞれ529万7,000円と定める。3項、保険事業勘定及び介護サービス事業勘定の歳入歳出予算の款項の区分及び当該区分ごとの金額は、第1表歳入歳出予算による。

第2条、一時借入金の規定であります。地方自治法第235条の3第2項の規定による一時借入金の借り入れの最高額は5,000万円と定める。

第3条、歳出予算の流用の規定であります。地方自治法第220条第2項ただし書きの規定により、歳出予算の各項の経費の金額を流用することができる場合は、次のとおりと定める。

1号、各項に計上した給料、職員手当及び共済費（賃金に係る共済費を除く）に係る予算額に過不足を生じた場合における同一款内でのこれらの経費の各項の間の流用。

それでは、6ページをお開きください。保険事業勘定の歳入歳出予算事項別明細書であります。

歳入であります。1款保険料、本年度予算額1億6,761万4,000円、比較1,219万6,000円であります。

2款使用料及び手数料、本年度予算額4万3,000円、比較ゼロであります。

3款国庫支出金、本年度予算額2億852万4,000円、比較885万8,000円であります。

4款支払基金交付金、本年度予算額2億2,242万9,000円、比較1,373万3,000円であります。

5款府支出金、本年度予算額1億2,172万5,000円、比較937万6,000円であります。

6款財産収入、本年度予算額5万2,000円、比較3万円あります。

7款繰入金、本年度予算額1億5,434万2,000円、比較323万5,000円あります。

8款繰越金、本年度予算額1,000円、比較ゼロあります。

9款諸収入、本年度予算額6,000円、比較ゼロあります。

以上、歳入合計、本年度予算額8億7,473万6,000円、比較4,742万8,000円あります。

次の7ページをごらんください。

歳出であります。1款総務費、本年度予算額1,292万7,000円、比較116万円の減、財源内訳といたしまして、その他の4万3,000円、一般財源の1,288万4,000円あります。

2款保険給付費、本年度予算額8億544万円、比較4,952万円、財源内訳といたしまして、国・府支出金の3億1,665万円、その他の3億8,591万5,000円、一般財源の1億287万5,000円あります。

3款地域支援事業費、本年度予算額5,530万5,000円、比較96万2,000円の減、財源内訳といたしまして、国・府支出金の1,359万9,000円、その他の1,442万8,000円、一般財源の2,727万8,000円あります。

4款基金積立金、本年度予算額5万2,000円、比較3万円、財源内訳といたしまして、その他の5万2,000円あります。

5款公債費、本年度予算額1,000円、比較ゼロ、財源内訳といたしま

して、一般財源の1,000円であります。

6款諸支出金、本年度予算額1万1,000円、比較ゼロ、財源内訳といたしまして、一般財源の1万1,000円であります。

7款予備費、本年度予算額100万円、比較ゼロ、財源内訳といたしまして、一般財源の100万円であります。

以上、歳出合計、本年度予算額8億7,473万6,000円、比較4,742万8,000円、財源内訳といたしまして、国・府支出金の3億3,024万9,000円、その他の4億43万8,000円、一般財源の1億4,404万9,000円であります。

次に、19ページをお開きください。介護サービス事業勘定の歳入歳出予算事項別明細書であります。

歳入であります。1款サービス収入、本年度予算額229万6,000円、比較ゼロであります。

2款繰越金、本年度予算額300万円、比較ゼロであります。

3款諸収入、本年度予算額1,000円、比較ゼロであります。

以上、歳入合計、本年度予算額529万7,000円、比較ゼロであります。

次の20ページをお開きください。

歳出であります。1款サービス事業費、本年度予算額229万6,000円、比較ゼロ、財源内訳といたしまして、その他の229万6,000円あります。

2款諸支出金、本年度予算額300万円、比較ゼロ、財源内訳といたしまして、一般財源の300万円あります。

3款予備費、本年度予算額1,000円、比較ゼロ、財源内訳といたしまして、一般財源の1,000円あります。

以上、歳出合計、本年度予算額529万7,000円、比較ゼロ、財源内訳といたしまして、その他の229万6,000円、一般財源の300万1,000円あります。

以上、簡単ではありますが、説明にかえさせていただきます。なお、給与費明細書につきましては、後ほどごらんおきください。

議長（岡田久雄） 次に、議案第17号の説明を求めます。

（挙手する者あり）

議長（岡田久雄） 中島上下水道課長。

理事（中島一也） それでは、議案第17号、平成31年度井手町公共下水道事業特別会計予算についてご説明申し上げます。

平成31年度井手町の公共下水道事業特別会計の予算は、次に定めるところによる。

第1条、歳入歳出予算の規定であります。歳入歳出予算の総額は歳入歳出それぞれ4億6,270万円と定める。2項、歳入歳出予算の款項の区分及び当該区分ごとの金額は、第1表歳入歳出予算による。

第2条、地方債の規定であります。地方自治法第230条第1項の規定により起こすことができる地方債の起債の目的、限度額、起債の方法、利率及び償還の方法は、第2表地方債による。

第3条、一時借入金の規定であります。地方自治法第235条の3第2項の規定による一時借入金の借り入れの最高額は5,000万円と定める。

第4条、歳出予算の流用の規定であります。地方自治法第220条第2項ただし書きの規定により、歳出予算の各項の経費の金額を流用することができる場合は、次のとおりと定める。

1号、各項に計上した給料、職員手当及び共済費（賃金に係る共済費を除く）に係る予算額に過不足を生じた場合における同一款内でのこれらの経費の各項の間の流用。

5ページをお開き願います。第2表地方債であります。

起債の目的、下水道事業債。限度額5,310万円。ただし、発行価格が額面を下回るときは、その発行価格差減額を埋めるため必要な金額をこれに加算した額。記載の方法、証書借り入れまたは証券発行。ただし、証券発行の方法による場合においては、発行価格は額面金額100円につき99円50銭以上とする。利率8%以内。ただし、利率見直し方式で借り入れる財政融資資金及び地方公共団体金融機構資金について、利率の見直しを行った後においては、当該見直し後の利率。償還の方法、40カ年以内据置期間を含む。ただし、町財政の都合により据置期間及び償還期限を短縮し、もしくは繰上償還または低利に借りかえすることができる。

次のページをお開き願います。歳入歳出予算事項別明細書であります。

1款使用料及び手数料、本年度予算額1億5,102万5,000円、比較514万5,000円であります。

2 款国庫支出金、本年度予算額 2, 2 5 0 万円、比較 1, 1 0 0 万円であります。

3 款繰入金、本年度予算額 2 億 3, 5 3 5 万 2, 0 0 0 円、比較 3 8 5 万 1, 0 0 0 円の減であります。

4 款繰越金、本年度予算額 1, 0 0 0 円、比較ゼロであります。

5 款諸収入、本年度予算額 7 2 万 2, 0 0 0 円、比較ゼロであります。

6 款町債、本年度予算額 5, 3 1 0 万円、比較 6 3 0 万円であります。

以上、歳入合計、本年度予算額 4 億 6, 2 7 0 万円、比較 1, 8 5 9 万 4, 0 0 0 円であります。

次のページをごらんください。

歳出であります。1 款総務費、本年度予算額 1 億 3, 9 2 8 万 2, 0 0 0 円、比較 8 1 2 万 7, 0 0 0 円、財源内訳といたしまして、その他の 7 2 万円、一般財源の 1 億 3, 8 5 6 万 2, 0 0 0 円であります。

2 款事業費、本年度予算額 8, 7 6 1 万円、比較 1, 8 1 8 万 5, 0 0 0 円、財源内訳といたしまして、国・府支出金の 2, 2 5 0 万円、地方債の 3, 9 7 0 万円、その他の 1, 3 9 4 万 7, 0 0 0 円、一般財源の 1, 1 4 6 万 3, 0 0 0 円であります。

3 款公債費、本年度予算額 2 億 3, 4 8 0 万 8, 0 0 0 円、比較 7 7 1 万 8, 0 0 0 円の減、財源内訳といたしまして、地方債の 1, 3 4 0 万円、その他の 2 億 2, 1 4 0 万 5, 0 0 0 円、一般財源の 3, 0 0 0 円であります。

4 款予備費、本年度予算額 1 0 0 万円、比較ゼロ、財源内訳といたしまして、一般財源の 1 0 0 万円であります。

以上、歳出合計、本年度予算額 4 億 6, 2 7 0 万円、比較 1, 8 5 9 万 4, 0 0 0 円、財源内訳といたしまして、国・府支出金の 2, 2 5 0 万円、地方債の 5, 3 1 0 万円、その他の 2 億 3, 6 0 7 万 2, 0 0 0 円、一般財源の 1 億 5, 1 0 2 万 8, 0 0 0 円であります。

以上、簡単であります、説明にかえさせていただきます。なお、1 4 ページ以降に給与費明細書がございますので、後ほどごらんおき願います。

議長（岡田久雄） 続きまして、主な事業の説明を求めます。

（挙手する者あり）

議長（岡田久雄） 中島上下水道課長。

理事（中島一也） それでは、平成 3 1 年度井手町公共下水道事業特別会計

予算に計上した事業の概要についてご説明申し上げます。なお、次ページに工事箇所図を添付しておりますので、あわせてご参照願います。

図対象番号①、事業名、府立特別支援学校関連整備事業、事業費2,200万円、財源内訳といたしまして、国・府支出金の1,000万円、地方債の1,200万円、事業の概要といたしまして、L=500メートルであります。

図対象番号②、事業名、改築更新事業、事業費2,400万円、左の財源内訳といたしまして、国・府支出金750万円、地方債600万円、一般財源の1,050万円、事業の概要といたしまして、ストックマネジメント管路修繕改築計画策定、マンホールふた取りかえ44カ所であります。

図対象番号③、事業名、面整備事業、事業費1,500万円、財源内訳といたしまして、国・府支出金の500万円、地方債の1,000万円、事業の概要といたしまして、L=100メートル、舗装本復旧であります。

以上、簡単ではありますが、説明にかえさせていただきます。

議長（岡田久雄） 次に、議案第18号の説明を求めます。

（挙手する者あり）

議長（岡田久雄） 花木企画財政課長。

企画財政課長（花木秀章） それでは、議案第18号、平成31年度井手町多賀財産区特別会計予算につきましてご説明申し上げます。

平成31年度井手町の多賀財産区特別会計の予算は、次に定めるところによる。

第1条、歳入歳出予算の規定でございます。歳入歳出予算の総額は歳入歳出それぞれ294万9,000円と定める。2項、歳入歳出予算の款項の区分及び当該区分ごとの金額は、第1表歳入歳出予算による。

それでは、4ページをごらんください。歳入歳出予算事項別明細書であります。

歳入であります。1款財産収入、本年度予算額46万7,000円、比較ゼロであります。

2款使用料及び手数料、本年度予算額2,000円、比較ゼロであります。

3款寄附金、本年度予算額1,000円、比較ゼロであります。

4款繰入金、本年度予算額227万7,000円、比較1万5,000円あります。

5 款繰越金、本年度予算額 20 万円、比較ゼロであります。

6 款諸収入、本年度予算額 2,000 円、比較ゼロであります。

以上、歳入合計、本年度予算額 294 万 9,000 円、比較 1 万 5,000 円であります。

次のページをごらんください。

歳出であります。1 款総務費、本年度予算額 237 万 1,000 円、比較 9,000 円、財源内訳といたしまして、一般財源の 237 万 1,000 円であります。

2 款衛生費、本年度予算額 38 万 7,000 円、比較 6,000 円、財源内訳といたしまして、一般財源の 38 万 7,000 円であります。

3 款諸支出金、本年度予算額 9 万 1,000 円、比較ゼロ、財源内訳といたしまして、その他の 9 万 1,000 円であります。

4 款予備費、本年度予算額 10 万円、比較ゼロ、財源内訳といたしまして、一般財源の 10 万円であります。

以上、歳出合計、本年度予算額 294 万 9,000 円、比較 1 万 5,000 円、財源内訳といたしまして、その他の 9 万 1,000 円、一般財源の 285 万 8,000 円であります。

以上、簡単であります。説明にかえさせていただきます。

議長（岡田久雄） これで提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

議長（岡田久雄） 質疑なしと認めます。したがって、質疑を終わります。

お諮りします。本 8 件については、議員全員の委員で構成する予算特別委員会を設置し、これに付託して審査することにしたいと思います。

ご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

議長（岡田久雄） 異議なしと認めます。したがって、日程第 5、議案第 11 号、平成 31 年度井手町一般会計予算から、日程第 12、議案第 18 号、平成 31 年度井手町多賀財産区特別会計予算までの 8 件については、予算特別委員会を設置し、これに付託して審査することに決定しました。

お諮りします。ただいま設置されました予算特別委員会の委員の選任につ

いては、井手町議会委員会条例第6条第4項の規定によって、議員全員を予算特別委員会の委員に指名したいと思います。

ご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

議長(岡田久雄) 異議なしと認めます。したがって、ただいま指名しました議員全員を予算特別委員会の委員に選任することに決定しました。

この際、暫時休憩します。休憩中に本特別委員会の正副委員長を互選していただき、議長まで報告願います。

休憩 午前11時44分

再開 午前11時44分

議長(岡田久雄) 休憩前に引き続き、再開します。

休憩中に予算特別委員会の正副委員長の互選があり、委員長には谷田利一議員、副委員長には古川昭義議員と決定いたしました。

以上で本日の日程は全部終了しました。

本日はこれで散会します。

なお、次回は3月22日午前10時から会議を開きます。

散会 午前11時44分

右、会議の経過を記載して、その相違ないことを証するため、ここに署名する。

議 長 岡 田 久 雄

署名議員 谷 田 利 一

署名議員 谷 田 みさお